

○北海道命名150年記念 インフラ歴史ツアー (五感で感じよう! 「美瑛・上富良野地域」と火山との共生) 【概要】

ツアーテーマ 『美瑛・上富良野地域における火山との共生と火山防災』

- ◇十勝岳山麓の美瑛・上富良野地域では、明治中期以降、入植者による開墾が進み、畑作や稲作などの農業が営まれていました。1926年(大正15年)、十勝岳の噴火により発生した火山泥流がこの地域を襲い、100名以上もの人々が犠牲となり、それまで整備されてきた農地にも大きな被害を及ぼす大災害が発生しました。
- ◇この火山泥流災害により、農地は莫大な量の酸性泥土と流木に埋めつくされましたが、並々ならぬ労苦を注ぎ泥土を排除し、客土を繰り返した結果、農地の復旧・復興が成し遂げられました。この大災害を契機として、その後、火山砂防事業をはじめとする火山との共生を目指す取組が進められ、今日では、美味しい野菜や小麦を生産する豊かな地域となっています。
- ☆本ツアーでは、十勝岳大正泥流と火山砂防事業のあらましについて、実際に現地を巡りながら学び、地元で穫れた野菜などの食を通じ、防災事業と農地整備の結果、火山の麓にあるこの地域で安心した生活や農業ができるようになったことを体感します。

催行予定

平成30年9月～10月の期間内で2回まで【土日祝日可】(日程は調整の上決定)

ツアー定員

各回 40名